

日本での交換留学

復旦大学

チョウ ムヨウ

日本での交換留学がもうすぐ終わりを迎えようとしています。この一学期の間、御茶水女子大学での生活と学びの経験は、私にとって非常に貴重なものでした。

学術活動においても、多くの貴重な経験を積むことができました。特に、朝鮮王朝前期と壹岐島の海域交流に関する史料の収集・整理・読解に集中しました。この活動を通じて、論文執筆の準備を進め、学問的な視野を広げることができました。さらに、島嶼史に関する研究著作の読書や研究方法、思考、理論を学ぶこともできました。

この一学期間、九州での資料調査と実地考察も行いました。これらの博物館の関連展示を見学することで、九州地域の東アジア海域史に関する重要な内容をより深く理解し、関連資料を直感的に見ることができました。これにより、論文執筆のための基礎を築くことができました、その時代の歴史への理解と感受性を高め、島民の生活を直感的に感じることができました。

日本での生活に慣れることは初めての挑戦でしたが、御茶水女子大学の国際部の先生方や学生の皆さんの助けを借りて、最初の手続きを順調に進めることができました。特に、国立国会図書館で利用者証を取得し、資料の検索が非常に便利になりました。桜の季節に散歩を楽しみながら、日本の美しい風景と文化に触れることができ、毎日の生活がとても充実していました。

指導教員の戸川先生には、研究に多大な助力をいただきました。特に、毎月の月度報告を丁寧に読み、貴重なアドバイスを数多くいただきました。これにより、研究の方向性や具体的な方法について深く考える機会を得ることができました。

国際部の荻原先生と大野さんには、特別な感謝を申し上げます。日本に来る前から、電子メールを通じてビザ申請資料やその他の必要書類の準備を細かくサポートしていただきました。また、学校の選択科目や宿舎に関する詳細な情報も提供してくださり、スムーズに日本に到着し、学校の手続きを完了することができました。お二人の温かい支援に心から感謝しております。さらに、tutorの野田さんには、日常の様々なことに対して細心の注意を払い、親切にサポートしていただきました。彼女の助けのおかげで、多くの細かい問題を解決することができ、安心して学業に専念することができました。

そして、宿舎である音羽館の管理員の皆さんにも大変お世話になりました。入居時には丁寧に注意事項を説明してくださり、滞在中も親切に対応していただきました。管理室の皆さんのおかげで、安全で快適な居住環境が提供され、安心して勉強に集中することができました。本当にありがとうございました。

御茶水女子大学での交換留学は、私にとって新たな挑戦と成長の場であり、多くの人々との出会いや助けを通じて、多くのことを学びました。これからもこの経験を活かして、さらに精進していきたいと思います。



